

シリーズ① 学力向上への道

名和中学校区の 取り組みについて



学習環境づくりを大切に

〜学力向上をめざして〜

*フォローアップタイム

名和中では、授業と家庭学習との結びつきを重視し、今年度より終学活終了後、10分間「フォローアップタイム」

として、家庭学習を計画する時間を設けました。この時間を使い、家庭で取り組む学習内容をしっかりと考えさせていきます。

また、毎週木曜日は、部活動を中止し、「フォローアップタイム」の延長として、40分程度の補習時間を設定しました。家庭での自学では、どうしても解決できない課題を教員や友人にアドバイスをもらいながら、学習内容を定着するための充実した時間となっています。

また、毎週木曜日は、部活動を中止し、「フォローアップタイム」の延長として、40分程度の補習時間を設定しました。家庭での自学では、どうしても解決できない課題を教員や友人にアドバイスをもらいながら、学習内容を定着するための充実した時間となっています。

*時間割の工夫

中学校の教員には、その教科の専門性により、得意とする領域（分野）があります。そこで、今年度は、同じ教科の全教員で、各々の「強み」を活かすよう全学年の授業を担当することとしました。

従来は、複数の教員が学年ごとに教科の担任を分担して

いましたが、今年度は複数の教員が必ずどの学年の授業も受け持つように工夫しています。

2名で担当する教科の時間を、同じ時間帯に組み込んでいきますので、単元によつてクラスを入れ替えたり、時には2クラス合同のチームティーチングを行ったりしています。

*学びのスタイルの明確化

名和小では「課題設定↓自力解決↓学び合い、深め合い↓振り返り」というスタイルを確立するよう共通理解を図っています。この学習を通して、子どもたちには、自分の考えを持ち伝える力、友だちと意見交流をしながら自分の考えをより高めようとする



▲前頭葉を鍛え、思考力・判断力を高めます！

力を育てようと考えています。

*脳活学習

名和小では、毎週火曜日と木曜日は朝の15分間脳活学習を行っています。脳を活性化させる目的で「スピード、リズム、タイミング」を合言葉に、詩やことわざ、四字熟語などをしっかりと声を出して読んだり、基礎的な計算を短時間で繰り返し行っています。

*家庭学習の充実

子どもたちは自学ノートに、その日学習した内容や自分で考えた学習をするなど工

夫して取り組んでいます。そして、中学校の中間・期末テストの期間に合わせて「校長先生問題（全校テスト）」も行っています。家庭でしっかりと練習してくれば合格できるようにして、家庭学習の習慣が身につくよう取り組んでいます。

*小中連携教育の推進

今年度も小中連携として、「授業づくり部会」「家庭学習部会」「交流活動部会」の3部会に分かれ、小学校と中学校がそれぞれの特色を尊重しながらも、学習指導や教育活動などの共通実践に取り組んでいます。

特に今年度は、家庭科の教員が専門性を活かし、小学校6年生に対し、授業を行うよう時間割に組み込みました。単なる交流ではなく、一単位時間の授業として位置づけることは、小中学校の連携をより強めることにつながり、小学校6年生が中学校へスムーズに進学できるきっかけになると期待しています。



▶補習時間も真剣です！